

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	/
支出年月日	平成 29年 6月 30日
支出項目	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	

ご利用明細

このご利用明細は必ずお持ち帰りください

年 月 日	29 06 30	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
*** **		お振り込み		¥81450	
税込手数料		1850		***	
お振込先		[REDACTED]			
ご依頼人		[REDACTED]			

三菱東京UFJ銀行をご利用いただきありがとうございます。



支出内容 (按分の計算方法)	81558 × 70% = 57090円
その他	広報紙印刷代

- * まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 領収書等のサイズが大きい場合は、裏面に貼付してください。

がおり通信 vol.79 「中島がのりの市政報告」 2017年 夏号二巻

芦屋市議会議員 無所属 3期目

中島かおり

6月議会 市政報告

清く、正しく、たくましく！
“実現する”
元タカラジェンヌ！

9月の議会予定

- | | |
|----------------|----------------|
| 8月28日 議案説明会 | 15日 本会議 |
| 9月 1日 議会運営委員会 | 25日 議会運営委員会 |
| 4日 本会議 | 26日 本会議 |
| 5日 建設公営企業常任委員会 | 27日 決算特別委員会 |
| 6日 民生文教常任委員会 | 28日 決算特別委員会 |
| 7日 総務常任委員会 | 29日 決算特別委員会 |
| 12日 議会運営委員会 | 10月 4日 議会運営委員会 |
| 13日 本会議 | 5日 本会議 |
| 14日 本会議 | |

詳細に
いっしょに
しませんか？



問い合わせ先
市議会事務局 ☎038-2001

6月議会より

市立幼稚園・保育所のあり方について 請願第13号 (統廃合・民間移管)に関する 請願書

請願者が芦屋市自治会連合会代表者のお名前だったことから、請願審査における民生文教常任委員会はかなり激しい議論(?)となり、賛成少数で不採択という結論になりました。議事録はまだHP上で見ることはできませんが、どのような議論がなされたのか、公開された暁には是非、ご覧ください。芦屋市議会のHPの会議録の検索・閲覧からご覧ください。

そもそも、2月13日に公表された「市立幼稚園・保育所のあり方について」に端を発しています。芦屋市に幼稚園や保育所がどれだけ必要なのか。また「あり方」が公立なのか私立がよいのか。「認定こども園」の役割をどのように考えるのか、など。芦屋市のなかで、認識や方向性がまだ落ち着くところに落ち着いていないといった感があるように思います。

そして請願がだされ委員会に附託されました。自治会連合会として適切なのか、団体としての意思決定に問題はないのか、といったやりとりがありました。今回の請願は「まちづくりの延長にある」という考えであるということです。その考えに賛同できると思いません。

請願項目としては「この計画は拙速すぎる。市民合意形成のため立ち止まり、芦屋の子育てしやすい街づくりを推進してください。」芦屋市立幼稚園・保育所のあり方について、地域によって事情が異なる小学校区毎に市民の知恵の集約と合意をはかるように、もう一度討論を住民を交えて進めて下さい。この二点です。

日頃から地域のために活躍しておられる「自治会」の皆さまからこそ、例えば見守り活動や子どもとの交流など子どもへの関りを日常的に行っているが故の、気持ちの発露としての請願であったと考えられないでしょうか。自治会連合会としてこのような請願はこれまでなかったというのなら、市民に身近であるべき議員として寄り添うことができていなかったと、中島かおりは遠慮にそして真摯に受け止めました。今後しっかりと努力してまいります。

最終日、賛成の討論をいたしました。

KAORI'S DIARY 6月

- 1日 議会
- 2日 議案説明会 懇話会
- 3日 司会 総会 セタンドール
- 4日 カッター他
- 5日 カウンセリング
- 6日 第二回 西宮市・芦屋市
ごみ処理広域化検討会議
送別会
- 7日 理事会
- 8日 全体協議会 議会運営委員会
代表者会議
- 9日 本会議 発信通告 写真展 演奏会
- 10日 街道清掃 打上げ会(宝塚)
- 11日 議会 カッター 引き締め
- 12日 建設公営企業常任委員会
- 13日 民生文教常任委員会
- 14日 総務常任委員会
- 15日 介観相談
- 16日 全体協議会 議会運営委員会 他
- 17日 総会
ごみ処理協議会・ヒアリング
- 18日 緑地清掃 自治会
防災士会総会
- 19日 本会議
- 20日 同
- 21日 同 (中島がおり登壇)
- 22日 民生文教常任委員会
- 23日 南海レスキュー29
- 24日 役員会
防災打ち合わせ 他
- 25日 ダメ。ゼツタイ。薬物乱用防止
啓発活動 進入 歓迎会
- 26日 チャリティ同演会
アオギリ二世再植樹
政務活動費報告書整理
- 27日 芦屋市環境処理センター運営
協議会
- 28日 芦屋市版(美術博物館)
- 29日 議会運営委員会
防犯連絡協議会 当番
- 30日 本会議 当番

グム。ゼツタイ。薬物乱用防止

全国各地で薬物乱用防止のため、6月20日～7月19日までの1ヶ月間、「グム。ゼツタイ。」普及運動が実施されています。中島かおりも毎年、啓発活動に参加させて頂いています。危険ドラッグ等の乱用も根絶に至らず、また、最近では特に若年層による大麻の乱用が大きな社会問題となっています。乱用者層の低年齢化が懸念されることや、危険ドラッグを使用した人が、意識障害、嘔吐、痙攣、呼吸困難等の健康被害や二次的犯罪を起こすことといった状況もあります。軽いやつで手を出さないように、そしてひとりひとりが「薬物は決して手を出してはいけない」という意識を強く持つことが大事ですね。



元宝塚歌劇団 トップスター 平あちさんと (中島かおりが 初舞台の頃の トップさんです)



緑地 アオギリ 二世



5月2日に植樹した緑地アオギリⅡの苗木が持ち去られたため、6月26日に再植樹されました。防犯カメラとセンサー付きライトが設置されました。誰が何故このようにひどいことをしたのかわかっていませんが、平あへの思いを込めて、人さしくしっかりと育てますように。

議員提出議案第17号 (初日に附決)

平成31年6月10日に任期が満了することとなる
芦屋市議会の議員の任期満了による選挙により選出
される同議会の議員の任期を定めることについて

提出者に中島かおりも名前を連ねました。

緑道中学校の建替基本構想(配設計画)について

- (1)平成29～30年度：基本設計・実施設計
(地域の皆様や学校関係者に計画の説明・協議等)
 - (2)平成31年7月～
平成34年8月：中学校建替工事
- ☆平成32年秋頃から給食開始予定です!

芦屋市霊園「合葬式墓地」について

3000人を対象に昨年8月にアンケートを実施し、半数の人が合葬式墓地は必要と回答しています。多様なニーズに応えると共に、水統的に整えられていくお墓を目指して「合葬式墓地」の建設が進みます。平成29年度に基本設計、30年度に実施設計、二年間の工事を経て33年度開設予定が示されました。時代の変化とともにお墓へのニーズも多くあり、これまで中島かおりも議会でも幾度となく取り上げ、時には条例改正に結びつく提案もしてまいりました。芦屋市民の声に応えられるものになることを強く願います。

芦屋市議会 ☎859-8501 兵庫県芦屋市緑道町7-8
TEL (0797) 38-2001

事務所 ☎859-0087 兵庫県芦屋市英園町1-19-204
TEL&FAX (0797) 55-8108

ホームページ http://nakajima-kaori.net/

E-mail nakajima-kaori@kcc.zaq.ne.jp





下水道は最重要インフラです!

にも関わらず、その機能・役割等が正しく伝達されていない気がします。

さて芦屋市にマンホールの蓋がいくつあるかご存知でしょうか。何と、1万3千882個もあります。毎日、私たちはいくつの蓋の上を歩いているのでしょうか。

実は、このマンホールの蓋にはご当地ならではの名所や名物が描かれており、マンホールの蓋を区柄にした「マンホールカード」の発行が広がっています。2016年4月より配

市開始となりましたが、「下水道」の役割を広めるとともに身近に感じ親しまれる広報の手段のひとつとして、芦屋市における取り組みを求めました。

現在、下水道事業の地方公営企業化を来年を目途に進めて頂いています。(中島かおり2012年12月議会一般質問)

2018年は「生まれ変わる芦屋の下水道!」として、身近に感じられる下水道となりますように、建設が進められている分庁舎には、環境に優しい取組と雨水利用の提案によるマンホールトイレも設置予定です。防災上も重要なことからマンホールトイレについても啓発をお願いしました。

さて皆さま、お出かけの際は少し気になってマンホールの蓋を見つけて頂きながら、訪れたまちを歩いてみてください! 楽しみが広がることでしょう。

危機管理における専門職の配置について

関西広域連合「我が国の防災・減災体制のあり方に関する懇話会」より、(仮称)防災庁創設への提案がされているのをご存知でしょうか。そのような流れの中、中島かおりはこれまでも提案してまいりましたが、②を含めて一般質問いたしました。

- ① 防災、防災を含め危機管理における部署を統括し、危機管理監、防災監をおくこと
- ② 防災、防災の分野に外部登用等により専門職(元職を含めた警察官や自衛官関係者等)を配属すること

こちらは1.17の被災、経験後も多くの災害に遭遇してきました。災害現場においては、時には地震や津波の被害による行方不明者の捜索、救助、救援活動、災害復旧現場における活躍など、消防、警察、自衛隊、海上保安庁をはじめとする方々の勇敢で無心で献身的な働きは強く心に残るところです。そういうことから、有事に備えて、災害現場の経験をもつ、危機管理等の専門職の配置については方向性としては必要なことではないでしょうか。地域防災マネージャー制度というものもあります。

また日常の現場における危機管理への対策、防犯的な意味からも専門職の配置があると、芦屋市役所の中において、職員や時には市民の方も安心する部分があるのではないかと思います。

宝塚市の市庁舎放火事件を覚えておられますでしょうか? 約4年前になります。宝塚市ではその後検証、報告書をまとめ、同時に職員アンケートを実施(HPで公開)、窓口業務を支援する警察官OBの活用、警察との連携強化、警備の徹底などの意見があり、実施しておられます。

芦屋市では大きな事件がないとはいえ、アンケートを実施したことはないことから、現状やニーズの把握から始めることも重要です。

これまでは不当要求行為といえ、暴力団関係者など反社会勢力による行政対象暴力でしたが、市民が放火する、という驚くべきことが発生していることを考えると、芦屋市といえども社会情勢に従って他市同様に取り組みを急ぐべきではないかと思えます。



PTAについて

「PTA」について芦屋市教育委員会はどのように考えているのでしょうか。任意加入団体であり基本的にはボランティアであるにもかかわらず、PTAはなくてはならないものだとも誰もが考えていることと思います。なり手不足の現状と、学校との関係などについて取り上げました。

答弁としては、役員・委員の就任にご苦労があることは認識しており、他市の取り組み等情報提供していきます、ということでしたが、根本的な解決に向かうには課題は多いようです。この件につきましては、引き続きご意見を寄せてください!

市営住宅の防犯対策の現状と課題について



近いところでは、大東町において車上荒らしの被害などもあり、防犯対策は重要であると考えます。

巡回を増やす、日頃からの備えをしっかりとするなど住民の方々への啓発等を含め、防犯安全上の厳格なる取り組みを期待します。

ごみ処理広域化の検討について

現在西宮市とごみ処理の広域化について協議が進んでいます。広域化にあたっては、両市ともに、約200億円前後の効率化がはかれると試算されています。

第一回の検討会議は4月27日で、11月を目途に一定の方向が示される予定です。

芦屋市におけるパイプラインは、西宮市との広域化検討の対象外であり西宮市にとっては、パイプラインのことは無関係です。

しかし、芦屋市にとっては同時に検討すべきことではないか、との点を強く主張しました。

「その他プラ」は芦屋市にとっては「燃やすごみ」ですが、西宮市では燃やさず、収集、再資源化しています。収集方法の違い等も住民がどのような意見をもつのか、そしてその考えによってどのような行動をするのか。

また、現在でもパイプラインの維持補修については一定の費用が必要ですが、分類方法が変更となった場合にどのようなことになるのか、といった検討も同時に、進めておかないと間に合わないのではないのでしょうか。

また、仮に、処理センター建設が西宮市においてなされたとして、中継基地など、多分、環境処理センターになるであろうと思われませんが、必要となるため、中継基地や、運搬することになるであろう処理方法、費用などの検討も当然必要であると考えます。西宮市との広域化の検討の場とは別に、しかし同時進行的に、芦屋市において、パイプラインを広域化の対象外としたが故の、そのことについての検討を望み、必要な数字を用意しておくべきではないのでしょうか。

「検討を要するものであると考えている」とのご答弁を頂きましたので、しっかりと準備して頂けるものと大きく期待いたします。

ところで西宮市の「清掃事業概要」はHPで見ることができます。早急に芦屋市もHPで公開することを求めました。更なる緊張感を持って、西宮市との検討会議に臨んで頂きたいものです。

処理センター建設がどこになるのか、仮に芦屋市外になったとして、その時の西宮市民の方々との感情等や、将来にわたってお願いできるものなのかどうか、また直営の比率が西宮市では高く、検討すべきことはかなり多くハードルは高そうです。市民の意見がどの段階で反映されるのかについてもしっかりと見ていかなければなりません。

「行く河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。」様々なことがおこる世の中です。時には人としての信用について考えさせられます。早いもので今期も折り返しとなりました。心機一転、初心を忘れず感わされることなく、これまでと変わらずに全力投球で頑張ってください。皆さま、くれぐれもお体大切にお過ごしください。